



由井二小だより臨時号

地域運営学校

八王子市立由井第二小学校

令和6年度 保護者アンケート（後期）結果より

本校は、「Google フォーム」のアンケート機能を活用し、12月2日～12月13日まで保護者アンケートを実施しました。回収率は、87%でした。ご協力ありがとうございました。以下に、結果をお知らせいたします。

1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない 5 わからない

【保護者アンケート】		1	2	3	4	5
1	学校の経営方針「くふうする子・はげましあう子・じょうぶになる子」を知っている。	76%	18%	4%	0%	1%
2	学校は、特色ある取組(由井二っ子班活動)を行っている。	80%	18%	1%	0%	0%
3	本校が、由井中学校と合同で行う取組(CC大作戦等)を知っている。	82%	15%	1%	2%	0%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	72%	25%	1%	0%	1%
5	学校は、「特別な教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	56%	37%	1%	1%	5%
6	学校は、いじめ未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	39%	36%	4%	3%	19%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	56%	31%	3%	1%	9%
8	学校は、授業において、説明、板書、発問、ICT機器の活用(1人1台の学習用端末を含む)等の工夫に取り組んでいる。	59%	31%	3%	0%	7%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	52%	36%	0%	0%	11%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりするように指導をしている。	56%	37%	0%	2%	5%
11	学校は、キャリア教育(仕事調べ、社会科見学、生き方教育、将来の夢等)について、キャリアパスポートを用いる等適切に指導している。	58%	34%	2%	0%	6%
12	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	42%	39%	6%	1%	12%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	66%	28%	5%	1%	0%
14	学校は特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	39%	30%	5%	0%	26%
【児童アンケート】4～6年(高学年)		1	2	3	4	5
1	先生たちは、学校目標(くふうする子・はげましあう子・じょうぶな子)を伝えていますか。	48%	26%	6%	0%	20%
2	先生たちは、特色ある取組(由井二っ子班活動)を行っていますか。	72%	16%	3%	0%	9%
3	先生たちは、由井中学校と合同で行う取組(CC大作戦等)を行っていますか。	41%	18%	4%	5%	32%
4	先生たちは、みなさんが安心・安全に過ごせるように、避難訓練等の安全管理に取り組んでいますか。	77%	13%	0%	0%	9%
5	自分の大切さ、他人の大切さを認め、行動することができるよう、先生たちは指導していますか。	56%	31%	2%	0%	11%
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応するなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか。	65%	24%	0%	4%	10%
7	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	51%	33%	3%	1%	12%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいますか。	58%	22%	2%	2%	15%
9	先生たちは、児童・生徒がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導していますか。	58%	26%	3%	0%	13%
10	先生たちは、「はちおうじっ子・キャリアパスポート」等を用いて、児童・生徒の生き方や将来についての指導をしていますか。	56%	22%	4%	1%	18%
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいますか。	51%	29%	3%	0%	18%

<保護者アンケート結果の考察> 「分からない」が特に多いものについて

(1)6. 学校は、いじめ未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。について

肯定的なご回答は、75%でした。19%の方が、わからないとの回答でした。本校の取り組みとして、まず未然防止のために、授業に「互いを認め合う場面」と「達成感・成就感を得られる振り返り」を設定し、「自分も人も大切に作る」児童を育てています。(特別の教科道徳)や理科において「生命の尊さ」について学び、同様に道徳で「親切、思いやり」「友情、信頼」「相互理解、寛容」について考えています。早期発見、早期対応のために毎週木曜日には、「いじめ防止対策委員会」「子供と向き合う時間」を設定し、情報交換し、組織ですぐに対応できるようにするとともに、SSW などの関係機関との連携にも努めています。またスクールカウンセラーとの全員面談を2年生及び5年生に実施し、1学期2学期の「ふれあい月間」にアンケートを行うことで、早期発見、早期対応に努めています。さらに、夏季休業日期间中に、八王子市教育委員会のスクールロイヤーである近本愛子弁護士を講師にお招きして「学校におけるいじめ対応」というテーマで、いじめ対応のフローチャートを基に、実際にいじめが起きた場合の対応の仕方について研修を行いました。次年度も、「いじめを許さない学校づくり」を保護者・地域・学校が一体となり、それぞれの持っている情報を共有しながら、組織的に行っていきたいと考えています。お子様のことでご心配やご不安のことがありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。

(2)9. 学習活動に対する評価は適切・公平である。について

肯定的なご回答は、88%でした。11%の方が、わからないとの回答でした。評価については、毎年学校全体で共通理解を図って取り組んでいます。それを個人面談や保護者会等を通して、保護者に伝えていますが、分かりにくいようでしたら、どうぞご質問ください。

(3)12. 学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。について

肯定的なご回答は、81%でした。12%の方が、わからないとの回答でした。今年度は、体育館や校舎内照明の LED 化や水道の自動水栓化工事を行いました。また校舎や体育館の外壁改修工事を行いました。近隣の築年数の比較的浅い学校と比べると、本校はかなり築年数が経過しているため、至る所で老朽化が目立ちます。空き教室も少なく、別室指導などもなかなかできない状況もあります。また、日々、児童も教職員も意識して清掃活動を行っています。次年度も、市と連携をしながら少しずつ学習環境の整備をしていきます。

(4)14. 学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。について

肯定的なご回答は、69%でした。26%の方が、わからないとの回答でした。今年度も、1年間を通して特別な支援を必要とする児童一人ひとりに対して、週2回片倉台小学校なかよし教室から教員が来て巡回指導を行いました。本校は 30 名を超える児童がなかよし教室に在籍し、所属の学級で困らないように指導を受けています。また、月 1 回 + α で特別支援コーディネーターを中心に校内支援委員会を開き、特別な支援が必要な児童への支援を検討しています。その支援には特別支援学級や特別支援教室へ入級するという支援や、学級で担任が行う支援も含まれます。東京都は教員が身に付ける資質の1つに「特別な配慮や支援が必要とする子供への対応」を掲げています。本校では、全教員にその資質を身に付けさせるために、校内研修会を実施する、校外の研修会に出席する等して、通常学級の中で特別支援教育を行っていくようにしていきます。今後、本校の特別支援教育をご理解いただけるように、ユニバーサルデザインを取り入れたり、合理的配慮に取り組んだりしていきたいと考えています。

【保護者からの主な意見及び学校からの今後の取組】

【感謝の言葉】 ・いつもご指導いただき、ありがとうございます。 ・いつもお世話になりありがとうございます。 ・楽しく活動できてるようです。ありがとうございます。 ・いつもよく子供達を見てくれていると思います。ありがとうございます。 ・満足しております。今後ともよろしくお願いいたします。 ・先生方、お友達には、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。いつも、ありがとうございます。 ・先生方や放課後子ども教室の先生方、サポートの先生方、学校に関わる皆さまが子どもたち一人一人に温かく関わって向き合ってくださっているのをすごく感じており、感謝しています。いつも本当にありがとうございます。 ・いつも温かくご指導いただいて、大変ありがたいです。息子は学校が大好きです。友達に対して思いやりやに欠けた行動をしてしまった時などにも、頭ごなしに叱るのではなく、失敗しながら学んでいくよう支えてくださっていることに感謝しています。 ・いつもお世話になっております。気になる事があった際に相談に乗っていただいたり、気にかけていただいたり、お忙しい中ご対応いただきありがとうございます。 ・毎日楽しく学校生活を過ごせているようです。様々なことにとっても丁寧に対応くださっています。いつもありがとうございます。	→たくさんの「感謝の言葉」ありがとうございます。今後も子供たちに対して、時には寄り添って声をかけ、時には良い相談相手となり、時には愛のこもった指導を入れ、何か問題があればすぐに対応するよう心掛けていくつもりです。
---	---

・いつも先生方が親身になってくださるので助けられています。なかよし教室など、なかなか他の生徒さんについていきにくい子のためのフォローがあるのも有り難いです。 ・愛情を持ってご指導頂き、注意されたり、お声かけ頂く事も多いと思いますが、毎日元気に、通学出来る事を嬉しく思います。 ・授業に集中できない環境に対して、迅速に対応して頂けて助かりました！ ・学習面や生活指導などとても素晴らしく、子ども自身が苦手を克服することやチャレンジする気持ち、意欲的に活動する様子に先生の指導力を感じ頭が下がる思いです。学校での振る舞いなど、先生や子ども同士の付き合いなど節度を持って良い感覚を身につけている姿に安心を覚えます。また小さなトラブルでも先生の迅速な対応によりその後もしこりなく学校生活が送れ心身ともに健康が保たれていることにも日頃尽力してくださっていることが伺え、大変感謝しています。	
【Home&School 連絡】 ・いつも細やかな Home&School での連絡助かっています。担任の先生もとても親身でいつも感動しております。ありがとうございます。	→Home&School における欠席連絡等ありがとうございます。
【学習】 ・漢字の復習を宿題で出してくださり、低学年から復習出来て良かったです。分からない漢字を、国語辞典で調べて、調べる事も回数を重ね、慣れてきた様に思います。 ・SDGs の出前授業では、息子の大好きなプラモデルを通しての授業で、帰ってくると、大満足で学んだことを話してくれました。ありがとうございます。	→家庭学習や辞書を引く習慣がつくことは学力向上につながります。 →体験的な授業をこれからもできる限り行います。
【教員】 ・担任の先生は、子どものことをよく理解し、丁寧に指導してくださっていると思います。 ・子どもにトラブルや不安事項があった際、すぐに対応してくださる担任の先生に感謝しています。子どもたちのことをよく見ていただいているなど感じます。 ・勉強は嫌いでも学校に行くのは楽しいと言ってるのは先生方のおかげです。ありがとうございます。 ・いつも熱心にご指導下さり、本当にありがとうございます。特に担任の先生には何かと褒めて励まして頂いているようで、感謝しております。 ・とある先生の指導の中で、『〇〇してんじゃねえ』といった言葉遣いでの指導を受けたと子どもたちから聞いたことがあるのですが、そのようなご指導が通常なされているのでしょうか。子どもたちの認識ではその時の怖い、嫌だという空気にばかりに気が取られ、反省には結びついていません。子どもが注意事項等同じ認識がもてるよう対話をお願いできればありがたいです。 ・子どもの学びのペースを尊重して指導してくださり、有難いです。お友達との関係で悩んだ時にもとても丁寧に指導していただき、安心しました。担任の先生だけでなく、校長先生や副校長先生、他学年の先生含めたくさんの先生方が声をかけてくださっているようで、感謝しています。放課後などの地域連携の取り組みも有難いです。引き続きよろしくお願いします。 ・児童数も多くなかなか落ちつかない中、何とかクラスを纏めようと頑張ってくださっていることが良くわかります。先生のご負担がかなり大きいのではないかと思います。子供達が自信を無くさないよう前向きな声かけを続けて頂けるとありがたいです。 ・提出物を児童が持ち帰らずに提出が遅れ迷惑をかけましたが、担任の先生には、児童の実態に合ったやりとりをお願いしたいです。	→今後も児童を褒め、児童に寄り添った指導を心がけていきます。 →言葉遣いについては、全教員に指導しました。しっかりと児童の話を聞き、対話をういながら指導するようにします。 →今後も全教職員一体となり、チーム由井二で児童を育てていきます。 →児童の自己肯定感が上がるような声かけを心がけていきます。 →持ち物の管理、提出物等では、児童の実態に合わせ、保護者と連携を取りながら、対応していきます。
【水筒】 ・水筒の管理が心配です。きちんと指導していただきたいです。	→水筒へのいたずらが起きないように教室移動は全員一斉に行うなど、努力していますが、管理の徹底が厳しいため、冬季は水筒持参を控えてもらっています。ご理解ください。

【ペーパーレス】 ・学校のお便りが電子化されたので、読む機会が増えました ・ペーパーレス化で紙や先生方の負担が減ってとても良いのですが、献立表と学級だよりだけは紙でいただけると有難いです。この二つは紙だと見やすく、一ヶ月に何をするかわかりやすいのでよろしくお願いします。	→11月の学校だよりでお伝えしたように、八王子市は「ゼロカーボンシティ」となっています。お便り等の個別の対応は致しますので、ご不便をおかけしますが、ペーパーレス化は進めさせていただきます。
【校舎】 ・いつもありがとうございます。気になる事としましては、特に下駄箱付近があまり清掃が行き届いていないと感じます。(大勢の児童の行き来があるため難しい問題とは思いますが) ・学校の階段の手すりが錆び付いていたのが、気になりました。	→昇降口は校庭の砂が溜まってしまいます。児童だけでなく、職員も清掃していますが、なかなか追いつきません。 ・階段の手すりについては、塗り直しを計画します。
【外国語】 ・新学習指導要領では「外国語」は週に2回行われるものと認識しております。実際に、近隣小学校では少なくとも週2回行われていると、そこに通う子どもたちは言います。多いところでは週に3回行うこともあると話す子もいました。由井二小の子たちは大体「月に2-3回かな…」と静かに答えます。先生方にお聞きしていないので、実際の状況は分かりませんが、外国語の授業数が他の学校に比べて少ないと息子の話を聞いていても思います。同じ公立の学校に通っていても、大きな差が生まれてしまっているのではないかと大変危惧しています。実際に子どもたちと接しながら、差が生まれている気もします。学校としてももう少し頻度を上げて外国語の教育に取り組んで頂けると子どもたちも伸びると思います。以前、ボランティアでも何でも子どもたちのためにお手伝いできることがあればと、担任の先生にお話したことがあります。今後の力が必要でしたら、いつでもご連絡頂ければと思います。	→外国語科として、5、6年生が週2回授業を行うことになっているのですが、本校では授業をまとめて行うことが多いので、月2、3回という印象を与えているかもしれません。しかし、外国語科は教科なので、計画的に力を付ける必要があります。そのため、高学年担任には理科や社会科と同様にコンスタントに授業を行うよう指導しました。八王子市は他市に比べてALTの時間が少ないので、ボランティアの話はありがたいです。考えさせてください。
【行事】 ・宿泊学習の前も、子ども達が楽しみに迎えることが出来る様に、準備や導入をしていたき感謝しております。とても楽しかったようです。 ・社会科見学、宿泊学習、音楽会とたくさんの楽しい思い出と経験は子ども達をまた1つ大きく成長させてくれたと思います。 ・以前は音楽会～展示会ではなく、音楽会～学芸会だったと聞いています。展示会も素晴らしいですが、普段の学校公開等の際に廊下などで展示するなどして、イベントとしては直接子供達の活躍が見られる学芸会を復活して頂けたら親子共に嬉しいです。 ・社会科見学では、SDGsについての話を聞いたり、お土産をもらったり、グループで行動し、たくさんの学びと経験ができた事、嬉しく思います。	→行事を通して児童は大きく成長しています。5、6年生の宿泊行事の引率をして、つくづくそう思いました。 →音楽会の練習は音楽科の授業でできますが、学芸会の練習は授業中にはできなくなっています。そのため、学芸会の実施は難しいです。ご理解ください。
【1人1台端末】 ・一人一台配布されている学習用の端末ですが、自由に持ち帰れる時と持ち帰れない時があるのはなぜですか？基本、市から児童に配布されているものなので、児童が学習したいとき持ち帰れるものと理解しています。どのようなきまりがあるのか明確にしたいと思います。ちなみに、うちの子どもは端末を持ち帰れないからパソコン部に入ったのに、やっぱり持ち帰れたとか。また、持ち帰れなくなったとか。担任判断なのか、学校のルールなのか、よく分かりません。	→学習用端末なので、あくまで学習での利用になります。現在持ち帰っているのは、担任が出した家庭学習の課題を行う場合が多いと思います。自主的な家庭学習や家庭における調べ学習での持ち帰りは担任に申請してください。

【給食】 ・可能であれば、各学期の長期休暇の終業式前日まで、給食を提供していただきたいです。同じ八王子市内の学校で直前まで給食の提供をしているところがあり、由井二小の話を聞いて驚いていたので。 ・息子が利き手首を骨折した時に、担任の先生をはじめ、栄養士さん給食室の方々には何も伝えてないのに、ギプスが取れるまで毎日フォークとスプーンを提供してくださり助かりました。先生方のお気遣い、優しさが伝わりました。	→次年度、給食回数を増やしてよいことになりましたので、8月、1月の始業式、7月の終業式も給食を提供します。心配なのは、長期休業後の白衣の持参です。忘れないようにお願いします。 →合理的配慮としてできる限りは行います。
【算数習熟度別指導】 ・いつもありがとうございます。算数も難しくなっているようで、追い付けるようにご指導頂きたくお願いいたします。 ・算数が少人数ではなくなってから初めて授業を参観しました。やはり、子ども達の理解度がバラバラで、先生1人で教えているのが大変そうだと感じました。出来る子を中心にグループ等作って教え合える環境にしたりするなど工夫が必要ではないかと思います。このままでは、理解できないまま授業が進んでどんどん分からなくなり、周りとの差がついてしまいそうで心配です。 ・算数の授業もいつまでクラス算数の状態なのか説明不足ではないでしょうか？他の学校では算数少人数で行っているのにおかしいと思います。	→児童が分かりやすい授業を作っていきます。 →市内の学校でも同じようなところがたくさんありますが、現在本校では、教員1名が病気により休業していて、算数習熟度別担当教員が担任に入っております。東京都ではここ数年、教員が慢性的に不足していますが、代替教員が取れるようであれば対応していきます。現在、大学生のボランティアや学校サポーターで対応しています。
【教科担任制】 先生達の負担軽減になるのなら、小学校でも教科別での担任制を検討してほしいと思います。	→都や市の方針で、本校でも教科担任制を高学年から少しずつですが実施していきます。
【トラブル】 ・クラスで揉めごとや問題を起こす生徒はだいたい同じメンバーだと子供からよく聞く。その都度その子の保護者に話が伝わって家庭でも話をしてくれているのか疑問を感じている。 ・クラスの男子が荒れているようで。色々な話を聞いていると心配になります。親御さんはそれを把握しているのか、学校に任せきりなのではないかと、気になる所です。 ・トラブルが多いと感じています。成長段階だと念頭に置いていてもやはり抑えが効かないように見受けられます。学校生活に諦めてしまっている子、意欲が湧かない、日々鬱々と生活している子どもたちの話をちらほら聞いており心配です。明確に加害と被害が分かる場合、被害児童の保護者は当然な事ながら事態収拾に向けて行動を起こしますが、加害児童の保護者にも学校からの連絡等行って欲しいです。	→揉め事が起こった場合には基本保護者に伝えるようにしています。 →いじめ対応については、学校いじめ防止基本方針に基づいて、教育委員会と連携して組織での対応を行います。調査によりいじめが確認できた際には保護者を交えて対応することもあります。

【その他】 ・6年生になってクラスが分かれ、1クラスの人数が減ったことで、「先生が自分を見てくれている」とより強く感じているようで、先生への信頼の気持ちがより強くなったと感じます。様々なタイプの子供たちがギュッと詰まった学年で、色々ありましたが、最終学年であと少しで卒業です。無事に卒業式を迎えられる事を楽しみにしております。 ・児童からの情報の吸い上げをしっかりと、共有する等してほしい。 ・本当に道徳の授業、思いやりや皆と一緒に協力して物事を行う授業が行われておりますか？学業は学校以外でも出来ますが、社会性、他人との協調性は学校で学べる重要な体験だと思っています。先生方はご尽力されていらっしゃるかと思いますが、クラスによっては非常に期待出来ないと感じておりますので、折角の貴重な学生体験を子供にさせてあげられない事があるのが、非常に申し訳なく思っております。今後はより学校以外で他者とのコミュニケーション、道徳、協調性を学ばせられるようにして参ります。よろしくお願い致します。 ・何かしらの支援が必要と考え、なかよし学級に通わせています。集団における個への支援について、各先生方が理解や知識を深めて指導していただけるとありがたいです。個別最適な学びをどのように実現しようと取り組んでおられるのか。「みんなと同じように声をかけていますが、、、」とわが子についてお話いただいた時に、だから支援が必要なんです、、、とやるせない気持ちになります。支援が必要な子への支援をお願いしたいです。 ・アンケートに関しては、匿名で回答できるようになれば、もっと回答しやすいのかな…と思いました。これからもよろしくお願いいたします。 ・担任変更もありましたが子供も落ちついて過ごせており良かったです。それぞれの行事で子供達の成長をととても感じています。ただ移動教室でアレルギー対応の連携が宿と上手く取れていなかったことには不安を感じました。臨機応変に対応して頂き綿密に連絡頂いたことにはとても感謝しております ・外国人の子供を同じクラスで受け入れていることに良い意味で感心しています。先生方の柔軟な対応に頭が下がります。	→2クラスでの1年間になりましたが、元1クラスの良いところもあり、行事では一丸となって取り組める6年生でした。 →児童から聞いた情報も大切にし、学校内で共有していきます。 →道徳性を伸ばす道徳教育は学校の全活動及び家庭、地域で育てていくものです。道徳教育へのご協力をお願いします。また、児童が嫌な思いをしているようでしたら、担任スクールカウンセラーにご相談ください。 →東京都の教員の資質の中に「特別な支援を要する子への指導力」があり、通常級においても特別な支援を行うことになっています。おっしゃる通り、全教員に特別支援教育を学ばせ、実施するようにしていきます。 →アンケートは責任なく誹謗中傷することにならないように、また個別に悩んでいる方へすぐに対応できるように記名をお願いします。 →アレルギー対応については、宿泊先や保護者との連携を確実に行います。大変ご心配をおかけしました。 →外国籍の児童については、日本語指導につなげ、それぞれの文化を尊重しながら生活できています。
---	---

◎頂きましたご意見は、すべて日々の指導や次年度教育課程にいかしてまいります。ご協力ありがとうございました。